



第509号 令和2年12月1日  
発行所 京都市学校医会  
京都市中京区間之町通竹屋町下ル  
楠町601-1 こどもみらい館 2階  
TEL (075) 256-0351  
FAX (075) 241-3568  
発行人 杉本英造

## 令和2年度 第51回全国学校保健・学校医大会 in 富山 基調講演&シンポジウム

会長 杉本英造

### 基調講演

#### 学校における食物アレルギーの最近の話題

富山大学学術研究部医学系小児科学講座 足立 雄一  
小中高での食物アレルギー頻度は、平成16年：2.6%→25年：4.5%倍増。アナフィラキシーも0.14→0.48%と著増。平成20年から5年間でエビペン使用は354名。食物アレルギー児の増加だけでなく、食物の種類が多様化し、一人で複数の種類のアレルギーを持つこともあり学校の対応が増加。最近では口腔アレルギー症候群（花粉関連食物アレルギー）や食物依存性運動誘発アナフィラキシー、コチニールやカルミンなどの色素アレルギーもあり、学校現場の大きな負担となっている。学童保育は、学校とは別組織なのでここでの指導も問題となっている。小麦アレルギーがなかったのに「お好み焼き」を食べてアレルギーを発症した事例では、小麦粉はダニでいっぱいだった。学校医として適切な診断に基づき、医学的見地からアドバイスを求められ、指導・対応するために専門医との研修会も大事。

### シンポジウム

#### 「子供の健康管理プログラム」の事後対応

##### —富山医師会と県教育委員会との連携—

富山県立中央病院 小児科部長 五十嵐 登

「子供の健康管理プログラム」ソフト導入により非標準的発育群が抽出されるが、非標準群の該当比率が高く（富山県で約20%）、事後対応に混乱がある。養護からは中等度肥満児、身長-2.0SD以下児、二次性徴判定に戸惑いが多かった。FQA集を作成して対応した。

高岡市小児生活習慣病予防健診の実際と全国実態調査

JOHO高岡ふしき病院 小児科診療部長 宮崎 あゆみ

「たかおかキッズ健診」：小児メタボリックシン

ドロームを基本に中性脂肪、食後血糖値を追加し、肥満度、血圧を組み合わせてメタボの危険性の高い子どもを抽出する。総コレステロール基準は、高HDLにより過剰抽出が多くなるので、non-HDLコレステロール基準に変更。肥満児の増加傾向（コロナ禍で運動不足）、非肥満児の高脂血症、食後高血糖（2型糖尿病疑い）が一定の割合で発見されている。

学校生活における児童生徒の心原性失神

富山県立中央病院 小児科部長 藤田 修平

起立性調節障害：長時間の立位や座位からの急な起立時に起こりやすく、安静時の失神が多く、足を上げて寝させると回復し、後遺症を残さず予後はよい。

心原性失神：肥大型心筋症・心臓腫瘍などの心筋疾患、QT延長症候群、カテコラミン誘発多形性心室頻拍、運動に伴う持続性心室頻拍などの不整脈、冠動脈起始部異常などの冠動脈奇形、肺高血圧症など。運動時、運動直後に失神発症し突然死もあり注意。AEDを用いた心肺蘇生を行う処置が必要。家族歴、ECG変化、日頃の身体所見に留意する。

子宮頸がん予防ワクチン接種率向上に向けた取り組み

富山県議会議員・富山県医師会常任理事 種部 恭子

毎年1万人が子宮頸がんに罹患し、3000人が亡くなっている。2013年にHPVワクチンの積極的勧奨が中止され、接種率は1%未満で定期接種であることをすら忘れられつつある。このままでは、子宮頸がん罹患率は増加する。行政を動かすため県議会議員になり、定期接種であることを知らせる個別通知送付を再開するための予算確保、医師会・婦人科医会・小児科医会と協働で市民にワクチン接種を啓発し、接種率向上に取り組んでいる。

## 第51回学校保健学校医大会 特別講演

福西小学校医 奥 村 正 治

全国学校医大会のプログラムには、毎年・主管になる都道府県の特徴を話題とし、文化講演が行われます。今回は主管が富山県ですので、海の話題か山の話題でなかろうか?と思いながら、富山市に向かいました。今回は、日本のほぼ真中の、北アルプス・中央アルプス・南アルプスに住み着いている“ライチョウ”的話題がありました。講師は、富山市ファミリーパーク公社園長・石原祐司さんの話でありました。このファミリーパークは、色んな物があるパークではなく、いわゆる動物園が中心のパークであるようです。

主題は「神の鳥、ライチョウを未来につなぐ」と題され話されました。園長の動物園は少し特徴があり、外国に存在する様な珍しい動物はなく、「日本の動物を知ってもらおう」を合言葉にしている動物園で、ライチョウの人工繁殖を行なっている珍しい動物園でもあるとの事でした。

ライチョウはキジ科に属し、全世界に16種ほど生息しており、日本には二種生息しているとの事です。一種は北海道に生息する“エゾライチョウ”であり、羽根の入れかわりはないとの事。それでは、アルプスに生息しているライチョウの名は?。“ニホンライチョウ”と呼び、羽根は年3回生え変わるとの事でした。

立山信仰→霊山の靈鳥とも言われ、神の使いとして考えられ、神の鳥ライチョウといわれる所以でもあります。

1980年代にはニホンライチョウは約3,000羽生息していたと考えられている。2000年代の初めには、約1,700羽に減少し、2012年からは環境省によるライチョウ保護増殖事業が始まられ、この事業にもファミリーパーク園は参加し、2015・2016は乗鞍岳より採取された野生下のライチョウ卵の人工孵化・育雛、2017年には、この2年間で飼育したライチョウのがいとした人工繁殖をさせ、人工育雛にチャレンジした。2019・2020年は自然繁殖に現地乗鞍岳で取り組んでいる。ライチョウを守る方法に2つ方法があり、1つは動物園などで守る方法(ファミリーパークの前半)と、もう1つは自然界の中で守るという方法(ファミリーパークの後半)とがあるが、ゆくゆく自然界で生息するライチョウの為には、餌などの問題も考えると、後半の自然界の中で守るという方式の方が、大変だが意味がある方法と言えるようだ。

最近、里山が無くなり、鹿・熊・猪等が山里を下り、民家に来るようになりました。しかし高い山の方では山里の方だけでなく、高山帯の方にも動物が来るようになります。ライチョウを捕食する様にもなっています。ライチョウを守ることは、一人ひとりがライチョウを通して、人と自然の共存を考え、それぞれの身近なところで、環境に優しい行動を取ることから始められることであると結ばれた。美しいライチョウの姿を我々の時代で途切れさせることなく、子や孫などの次の世代まで引き継いでいきたいと!!

## 第51回全国学校保健・学校医大会 第1分科会

北野中学校医 林 鐘 声

福井県医師会 森 夕起子

②岐阜県医師会による岐阜県方式学校検尿システムの実際 岐阜県医師会 加納正嗣

③成長曲線・肥満度曲線と個人別の運動量・栄養計算 奈良県医師会 高橋泰生

④小学4年から中学2年のPercentage Overweight (POW)の10%の増減が、非空腹時脂質値にあたる影響 岐阜県医師会 平野量哉

第1分科会の会場には医師は47人、5つの分科会全体では直接参加者156人(富山県62人、県外94人)、Web参加者318人、が登録されていた。お陰で密とならずによったりと机を占有できたとともに演題数もいつもより少なく、気持ちよく集中して発表を聞くことができたのは結構なことであった。

①福井県医師会の学校腎臓検診の取り組み

～福井県版学校検尿マニュアルの導入～

## ⑤児童生徒の成長に伴う心電図の変化

～5万人の正常心電図から～

神奈川県医師会 岩本眞理

## ⑥学校心臓検診2次検診対象者抽出のガイドライン：改訂のポイント 東京都医師会 鮎澤 衛

①：福井県医師会では、平成31年度に学校検尿委員会を設置し、県教育委員会の協力を得て独自の学校検尿マニュアルを用いた学校腎臓検診システムを導入した。平成31年、県内小中学生約63,000人が対象となり、精密検診該当者は小学生0.22%，中学生0.59%，そのうち医療機関を受診したのは小学生で73%，中学生で62.5%であった。

②：岐阜県方式学校検尿システムとは、県医師会内に設置された学校検尿判定委員会が春は学校検尿終了後に個別判定を行い、秋は医療機関受診後に受診結果を検討して不適切と思われる場合に意見書を送付するシステムのことである。平成16年度より実施し、平成31年度には県立学校の全てと市町村立学校の80%以上が対象となった。平成31年の春は、1次検尿受検者41,418人、うち1,777人(4.29%)が陽性者となり、この陽性者に対して要医療216人(0.52%)、要観察199人(0.48%)と判定した。この年の秋にはどのような不適切事例があったかの言及はなかったが、例年、腎生検を促す意見書や不適切に過度な運動制限に対しての意見書を送付するなどしてきたことで、このシステム導入前に比べて、適切な管理・治療がなされるようになったと報告した。

京都府では、京都市学校検尿事業が平成16年度より導入され、平成26年度には舞鶴市が参加し、年度末には結果の公表をしている。ただ、他の市町村の検尿検診の精度管理がどうなっているかは不明である。

③：平成27年に日本学校保健会から成長曲線作成ソフトが全国の学校に無償配布されたが、奈良県では独自の成長曲線作成ソフトを作成し、「学校医が一瞬で成長曲線を描く」として昨年に発表していた。今回も、さながらパソコン教室のようにPC操作法をスライドで示すのを主としていた。養護教諭や栄養教諭が入手したいソフトであったと思う。

④：各務原市では、平成4年より市立小学校4年生と中学校2年生の全生徒対象に、学校で非空腹時採血による脂質検査を実施し、肥満と脂質異常症を関連付けた検診を行ってきた。今回、平成23・24・25年の小4で平成27・28・29年に中2になった家族性脂質異常症を除外した3,066人を対象に、小4と中2の時の身体測定値と脂質値とを縦断的に検討した。当該3年間の検診率は小4で91%，中2で94%であった。肥満度の変化が±10%以内のflat群は男女とも85%，-10%以下のloss群は男9%女8%，+10%以上のgain群は男6%女7%，男女別に3群と脂質値の関係を検討したところ、小4時と中2時の脂質値は、群に関係なく有意な相関があること(同一人のだから当然か)や、gain群では男女とも中2のnonHDL-C値が他群に比べて優位に高値であったことなどを報告した。学校で2回採血を受けた子どもたちが、生活習慣病に対して理解を深めていることを期待したい。

⑤⑥：小児循環器学会の評議員からの心電図に関する報告であった。基礎データは、平成18年から21年に鹿児島市で施行された学校心電図検診で記録されたデジタル記録心電図56,753枚のうち、正常とされた48,401枚(小1:16,773人、中1:18,125人、高1:13,502人—数はそのまま)を解析したものであった。⑤：成長に伴う正常変化としては、心拍数は学年が進むにつれ低下し同じ学年では女子が高い、QRS軸は学年において差がなく男女差もない、V1-3誘導のT波陽性化は学年が進むにつれて増加し、V4のT波陽性化率は小1男97.6%女97.4%，高1男99%，女99.5%などであった。⑥：平成16年に改定されたガイドラインを、上記の知見を踏まえて新たに改定したことについて解説した。左室肥大の数値基準の見直しが一番大きな改定で、聞くところによると99パーセンタイルの数値を採用したことであった。一部を紹介すると、RV5 $\geq$ 4.0mV(小学低学年)， $\geq$ 4.5mV(中学・高校男子)， $\geq$ 3.5mV(中学・高校女子)，RV6 $\geq$ 3.0mV(小学低学年)， $\geq$ 3.5mV(中学・高校男子)， $\geq$ 2.5mV(中学・高校女子)など。元々、基準値が低いと評価されていたので、京都府医師会心臓検診委員会でも、このガイドラインを参考にして手直しを予定する。

## 第51回全国学校保健・学校医大会に参加して（第2分科会）

東山泉小中学校医 長村吉朗

富山県富山市で開催されました第51回全国学校保健・学校医大会での第2分科会の概要を報告いたします。

1. 「明日はきっといい日になる」ロコモダンスプロジェクト 秋田県医師会 後藤敦子
2. 姿勢の指標として“上体起こし”に注目 広島県医師会 泉恭博
3. 新型コロナウィルス感染症による長期休業が生徒の健康に及ぼす影響について—骨密度測定結果・スポーツテスト・アンケート結果などより— 東京都医師会 猪狩和子
4. 発達障害児・医療的ケア児の災害時対応マニュアル作成に向けて 岡山県医師会小児科部会・岡山県小児科医会の取り組み 岡山県医師会 横山裕司
5. 保育施設における食物アレルギーの実態と就学時引き継ぎの課題についての検討 和歌山県医師会 島津伸一郎
6. 一般学童における吸入アレルゲン感作率の経年変化 滋賀県医師会 楠 隆
7. 徳島県の公立学校におけるアレルギー事例検討会の取り組みについて 徳島県医師会 田山正伸

以上の7演題について報告いたします。

例年10演題以上の発表があったのですが、今年に関しては非常に少なく、現地での参加も普段の1/3程度の少人数のため質疑応答も少なく予定通りに終了しました。また第4、5演題に関しては演者もリモートで行われました。ただしその音声は非常に明瞭で途切れもなく、今後はこの方式が定着するかもしれません。

さて、各演題につき報告いたします。第1演題ですが、メタボ体型の子供たちに対する運動として考案されたダンスを紹介されました。第2演題では上体起こし運動が脊柱の変形を防止するとの考えを提示されました。第3演題では3ヶ月に及ぶ休校措置による子供たちへの影響調査ですが、骨密度低下が認められました。第4演題では災害時における発達障害・医療的ケア児に対する対応の必要性が指摘されました。第5演題では保育施設での食物アレルギー調査票の標準様式がなく、小学校への引き継ぎも十分でないことが報告されました。第6演題ではスギ花粉の感作率の上昇が報告されました。第7演題では、徳島県での取り組みが紹介されました。

以上簡単に内容を記載いたしましたが、抄録が必要な方は事務局まで御連絡下さい。

## 第51回全国学校保健・学校医大会 第3分科会に参加して

西京高等学校医 杉本英造

1. 発達性読み書き障害（ディスレクシア）を抱える子どもたちのためのトレーニングソフトの開発および書籍 埼玉県医師会 平岩幹男  
音声言語（聞く、話す）には問題がないにもかかわらず、文字言語（読む、書く）に困難さを抱えたまま成長すると、仕事に支障がでて就労機会を失ったり、車の運転はできても学科試験をパスできない。小中学だけで数十万いる可能性あり、障害を早期に発見し支援する必要があり、開発したソフト・書籍が役立つ。

2. 新型コロナウィルス感染症児発生時の学校と福祉保健所との連携 高知県医師会 吉川清志

コロナウィルス感染発生を福祉保健所から連絡→教育委員会・行政へ連絡・連携し、福祉保健所の指示を仰ぐ→対策チーム設立。校長が行政との窓口・報道対応、教頭が書類、接触者リストの作成。対策チームは児童生徒・保護者・住民対応、学校医への報告。教職員への情報伝達は重要でマスコミから知るのでなくチームから知る。「濃厚接触者の接触者はただの人」で感染リスクは、非接触者と同等である。

り、仕事を休ませる必要がないことを基本とする。

### 3. 高知県の新型コロナウイルス感染症対策における子どもの心のケア；医療-教育連携を中心

高知県医師会 高橋秀俊

- ・子ども、保護者、学校の関係者などが円滑に相談できる体制
- ・コロナ感染症に伴う影響について毎日少しでいいから話題にする
- ・子どもの行動・こころ・からだへの反応を理解する
- ・子どもの心のケアの基本的な対応について理解する
- ・心のケアを要するリスクが高い子どもの対応は、専門機関と連携
- ・子どもの周りの大自身の心身の安定をこころがける

### 4. 守口市 5歳児健康診査巡回支援事業の取り組み

大阪府医師会 森口久子

SDQアンケート（厚労省軽度発達障害の発達検査ツール）にて high need群は20%あり、そのうち要支援率は46～62%と高い。そこから発達検査が必要なものは30%あり、心理士の助言だけで終了もあるが、就学後観察が必要であったり、支援級選択もある。3歳6か月健診後、発達の偏りグレーディングを支えるため5歳時健診は有用である。

### 5. 学校メンタルヘルス活動からみえてきた学級崩

壊の構造と対策 三重県医師会 梅本正和

学級崩壊は、問題行動のような外的なことにとらわれやすいが、内面的な問題（不安・抑うつ・希死念慮）も考慮して介入することが予防につながる可能性がある。自尊感情をあげることは、希死念慮を改善し、自殺予防につながる。

### 6. 西宮市児童におけるインターネット依存の実態調査 兵庫県医師会 前 寛

ネット依存の判定はInternet Addiction Diagnostic Questionnaire(IADQ)を使用。西宮市の小学校、中学校から3校選定し、小学校5年277人中22名(7.9%) 中学校449人中52名(11.6%)が依存症。小学校では、肩こり腰痛、全身倦怠、中学校では胃腸障害、頭痛、肩こり腰痛、気分不良、全身倦怠が非依存群より有意差を持って多い。健康被害に注意。

### 7. 睡眠育成士の活動について

愛知県医師会 松川武平

不登校生徒数は小学校・中学校とも増加傾向にあり、登校回避感情に「睡眠」が影響する。

2018年に睡眠育成士認定講座を開き、54名の「睡眠育成士」を認定。児童への睡眠教育を行い、学校から要請があれば無報酬で出向し、児童・教員に睡眠教育を行う。これから活動。

## 第51回全国学校保健・学校医大会 第4分科会に参加して

京都府耳鼻咽喉科専門医会理事 鈴木由一

令和2年11月14日土曜日、日本医師会主催・富山県医師会担当で富山国際会議場にて開催されました。開催形式は例年と異なり現地会場参加またはWeb参加のハイブリッド開催でした。現地での参加は例年の1/3程度でした。私は現地参加をしてきましたのでご報告いたします。

座長、演題は右記の通りです。

例年より演題数も少なくうち2題はWeb参加による発表でした。他のWeb会議に比して音声映像ともきれいでストレスはありませんでした。講演の抄録集は府医の専門医会事務局に置いておきますのでご覧ください。

### 第4分科会「耳鼻咽喉科」

〔座長〕富山県耳鼻咽喉科医会会长 麻生伸  
富山大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科教授 將積日出夫

発表順	演題名	研究発表者名	
1	耳鼻咽喉科学校医の健康教育の現状と対策～富山市小中学校養護教諭へのアンケート調査結果をもとに～	富山県医師会	高野正美
2	学校保健に関する行政への働きかけとその成果	新潟県医師会	大滝一
3	大阪市における耳鼻咽喉科学校保健による現状(統報)～大阪市公立小中学校養護教諭へのアンケート～	大阪府医師会	森脇計博
4	軽度・中等度難聴児の補聴器装用状況について	神奈川県医師会	寺崎雅子
5	川崎市における耳鼻咽喉科定期健康診断20年間の疾患別統計の検討	神奈川県医師会	吉川琢磨
6	徳島県における先天性一侧性外耳道閉鎖症児の軟骨伝導補聴器常時装用のための取り組み	徳島県医師会	島田亜紀

## 第7回 常任理事会

令和2年12月5日 於 こどもみらい館4階

**出席者** 杉本会長、井本・山内副会長、安野専務理事、川勝・中嶋・西村・林各常任理事、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、奥村議長、長村・東道監事

### ・会長挨拶

#### <報告事項>

1. 色覚相談 11/10 2名, 11/17 2名,  
11/24 2名, 12/1 2名
2. 精神衛生研究会 11/12
3. 第51回全国学校保健・学校医大会 11/14  
於：富山県富山市 杉本, 林, 鈴木, 奥村, 長村  
(WEB参加 井本)
4. 日本学校保健会100周年記念表彰 12/5 中止
5. 中学校ラグビーの試合中における負傷者対応について
6. 学校医辞退届について
7. 新型コロナウイルス感染報告（学校医から地区医師会への報告）
8. 指定学校医単位救済について
9. 令和3年総会講師について：中京東部支部長 俵先生に依頼
10. コロナ感染特別警戒下での事務局の就業時間変更について **9:30～17:00**
11. その他 11/27 学校給食安全衛生委員会

#### <協議事項>

1. 学校健診の上半身脱衣について
2. 第35回 京都市小学校「大文字駅伝」大会代替大会出務医（2名）について
3. 京都市中学校秋季総合体育大会 ラグビーフットボール種目出務医（3名）について

4. 新任校医研修会について 3/25
5. 学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）改訂について：学童保育まで含めるか？
6. 令和3年総会について
7. その他

#### <関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 12/8 2名, 12/15 1名,  
12/22 2名
2. ツベルクリン反応検査  
接種 12/8, 判定 12/10  
於：京都市総合教育センター 奥村  
接種 12/9, 判定 12/11  
於：京都市教育委員会 体育健康教育室  
安野, 山内  
接種 12/14, 判定 12/16  
於：京都市総合教育センター 山内, 杉本  
接種 12/15, 判定 12/17  
於：京都市教育委員会 体育健康教育室  
大久保
3. 精神衛生研究会 12/10
4. ワンポイント相談 12/24
5. 第8回常任理事会 1/9  
於：京都ホテルオークラ
6. その他

学校医会事務局の年末年始休暇の期間を  
下記の通りとさせていただきます。

12月26日（土）～1月3日（日）